

# レッツ 原価管理 Go!

インストールマニュアル



# 目次

## 第1章 インストールの前に

- 1 レッツ原価管理Go!をインストールする前の確認事項 . . . . . 1-2
- 2 運用形態の確認 . . . . . 1-2
- 3 必要システム要件の確認 . . . . . 1-3
- 4 データベース環境の確認 . . . . . 1-4
  - 1 データベースについて . . . . . 1-4
  - 2 既に SQL Server がインストールされている場合 . . . . . 1-4
- 5 ネットワーク環境の確認 . . . . . 1-5
  - 1 ネットワーク (LAN) 環境 . . . . . 1-5
  - 2 ネットワーク (WAN) 環境 . . . . . 1-5
- 6 その他 . . . . . 1-5

## 第2章 サーバーのセットアップ

- 1 インストール前の確認事項 . . . . . 2-2
- 2 .NET Framework 3.5のインストール . . . . . 2-3
- 3 SQL Server 2017 のインストール . . . . . 2-4
- 4 Windows ファイアウォールの設定 . . . . . 2-6
- 5 サーバーへユーザーの追加 . . . . . 2-8

## 第3章 クライアントのセットアップ

- 1 インストール前の確認事項 . . . . . 3-2
- 2 レッツ原価管理Go!のインストール . . . . . 3-3
- 3 レッツ原価管理Go!の起動とサーバーの選択 . . . . . 3-7
- 4 バックアップ . . . . . 3-8

## 第4章 補足

- 1 プログラムの再インストール . . . . . 4-2
- 2 クライアントの追加 . . . . . 4-3
- 3 クライアントの変更 . . . . . 4-3
- 4 サーバーコンピュータの変更 . . . . . 4-3
- 5 SQL Serverエディションの変更 . . . . . 4-4
- 6 アンインストール . . . . . 4-5
- 7 .NET Framework 3.5のインストール . . . . . 4-9

## 第5章 トラブルシューティング

- 1 インストール前のトラブル . . . . . 5-2
- 2 サーバーのセットアップ時のトラブル . . . . . 5-3
- 3 クライアントのセットアップ時のトラブル . . . . . 5-7

- 本書では、レッツ原価管理Go!のインストール方法についてのみ解説しております。機能および基本的な操作方法につきましては、「レッツ原価管理Go! 操作マニュアル」でご確認ください。
- 本書の内容に関しては、訂正・改善のため、予告なしに変更することがあります。
- Windows は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

## 第 1 章 インストールの前に

## 1 レッツ原価管理G o!をインストールする前の確認事項

### 1 運用形態の確認

スタンドアロン・LAN・WAN

### 2 必要システム要件の確認

サーバーコンピュータ・クライアントコンピュータ・必須ソフトウェア

### 3 データベース環境の確認

使用するSQL Serverのエディション

### 4 ネットワーク環境の確認 (スタンドアロンで使用する場合は不要)

## 2 運用形態の確認

運用形態は、大きく4タイプに分けられます。

クライアント台数や使用する場所などにより運用形態を決定します。

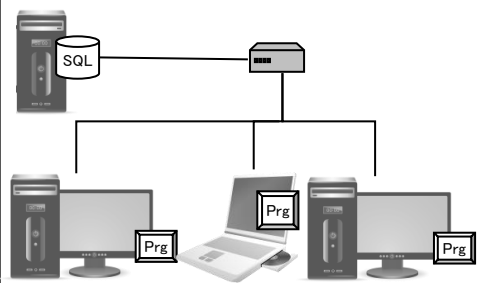
### スタンドアロン型

1台のコンピュータにSQL Serverとレッツ原価管理G o!プログラムをインストールして使用します



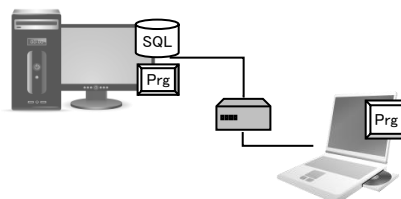
### クライアント・サーバー型LAN

サーバーコンピュータにSQL Serverをインストール、クライアントコンピュータにレッツ原価管理G o!プログラムをインストールし、複数人で同時使用できます。



### サーバー兼クライアント型LAN

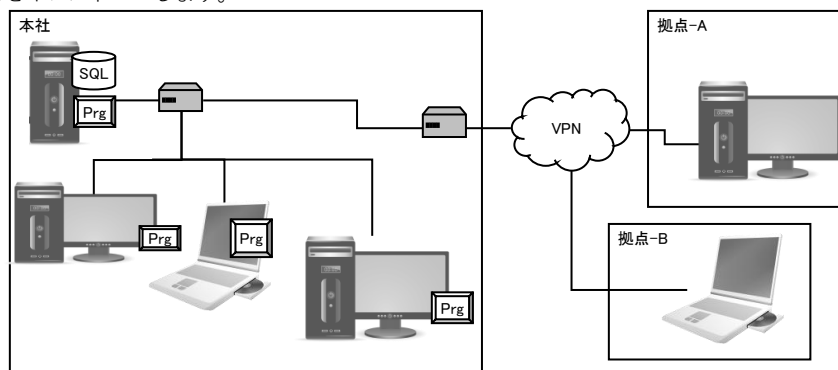
サーバーコンピュータを設置せず、LAN上のコンピュータ1台にSQL Serverとレッツ原価管理G o!プログラムをインストール、クライアントコンピュータにはレッツ原価管理G o!プログラムをインストールし、2台で同時使用できます。



### WAN

遠隔地のクライアントより、レッツ原価管理G o!を使用する場合の形態です。

サーバーコンピュータにリモートデスクトップサービス、SQL Server、レッツ原価管理G o!プログラムをインストールします。



セットアップ方法は別冊「WAN環境で使用する場合のセットアップ」を合わせてご確認ください。

## 3 必要システム要件の確認

|           | サーバー                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | クライアント及びスタンドアロン                                                                                        |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| CPU       | Pentium 4 以上または同等の互換プロセッサを搭載したコンピュータ（推奨：3GHz以上）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                        |
| 日本語OS     | Windows Server 2022<br>Windows Server 2019<br>Windows Server 2016<br>Windows Server 2012 R2<br>Windows Server 2012                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | Windows 11<br>Windows 10<br>Windows 8.1<br><br>※2台までの運用なら1台のPCをサーバー兼クライアント機として使用可能です。                  |
| メモリ       | 1GB 以上(推奨:2GB以上)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | Windows 11 : 1GB 以上(推奨:1.5GB以上)<br>Windows 10 : 1GB 以上(推奨:1.5GB以上)<br>Windows 8.1 : 1GB 以上(推奨:1.5GB以上) |
| モニター      | 本体に接続可能で上記OSに対応したモニター<br>解像度1024×768 以上 High Color (16ビット) 以上推奨                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                        |
| ハードディスク   | インストール時、最大約 1GB<br>別途 データ領域必要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | インストール時、最大約1.4GB<br>スタンドアロンまたはサーバー兼クライアントの場合は別途データ領域必要(サーバーに準ずる)                                       |
| プリンタ      | 上記OSに対応した、A4用紙が使用可能なプリンタ。<br>プリンタドライバ上またはOS上の設定で余白の範囲を11mm以下まで指定できるプリンタ。<br>※プリンタドライバについては、上記OSに対応したメーカーから提供されているドライバをご使用ください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                        |
| 周辺機器      | 上記OSに対応した、マウス・キーボード<br>インストール時、CD-ROM ドライブが必要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                        |
| 必要なソフトウェア | 1. Microsoft Internet Explorer 6.0 Service Pack 1 以降<br>※上記ソフトウェアがインストールされていない場合、本製品を正常にセットアップできません。<br>2. Microsoft Windows Installer 4.5 以降<br><br>3. Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 以降<br><br>4. Microsoft Excel 2000以降<br>※本製品のExcelクリエイト機能をご使用になる場合に必要です。別途インストールして下さい。<br>5. Microsoft Outlook 2000以降、又はMicrosoft Outlook Express 5以降<br>※本製品の承認依頼機能をご使用になる場合に必要です。通常使用する電子メールのプログラムとして設定されている必要があります。<br>※Webメールでは利用できません。また、すべての電子メールソフトには対応していません。 |                                                                                                        |
| データベース    | Microsoft SQL Server 2008 R2 以降<br>※本製品は、SQL Server 2017 Express Edition を同梱していますが、上位エディションをご使用いただくことも可能です。<br>上位エディションをご使用いただく場合は別途ご用意して下さい。その場合SQLServerのライセンスが別途必要です。<br>※20クライアントを超える場合、SQL Server 2017 上位エディションの使用を推奨致します。<br>※SQL Server 2017 Express Editionでは1データベース領域(会社ファイル)として最大10GBまで使用可能です。<br>※SQL Server 6.5/SQL Server 7.0及び、これらのSQLServer互換のMSDEがインストールされている環境にはインストールできません。<br>※SQL Server 2005 SP3以降もご利用可能です。                                         |                                                                                                        |
| LAN環境     | 100BASE-T以上の有線LAN 通信プロトコルにはTCP/IPを使用します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                        |
| WAN環境     | リモートデスクトップサービス必須<br>※別途 リモートデスクトップ サービス クライアント アクセス ライセンス が必要です。<br>※Microsoft Excel, Microsoft Outlookをリモートデスクトップサービス上で使用する場合は、サーバーにインストールする必要があります。<br>その場合使用クライアント数分のライセンスが必要です。<br>(Excel2007以降をリモートデスクトップサービス上で使用する場合は、ボリュームライセンスでご購入ください)<br>※リモートデスクトップサービス上で印刷をおこなう場合は、リモートデスクトップサーバーより印刷可能なプリンタを指定してください。<br>※Window Server 2012 (R2), 2016, 2019, 2022のOSではActiveDirectoryのメンバーサーバーではない場合、ローカルのアプリケーションと同等の画面表示を行うRemoteAppが使用できません。                           |                                                                                                        |
| ご注意       | ※快適にご利用いただくために、より高スペックのCPUを搭載したコンピュータ、並びにより多くのメモリ搭載をおすすめします。<br>※処理中に、Windowsがスタンバイモード・休止モード・スリープモードに移行すると、エラーが発生する場合があります。<br>Windowsがスタンバイモード・休止モード・スリープモードに移行する前に、レッズ原価管理Go!を終了してください。<br>※Microsoft社のサポート保証期間が終了しているOSについては正常に動作しない可能性がありますので、保証期間の終了していないOSでの運用をおすすめします。<br>※Microsoft SQL Server および弊社アプリケーション使用領域(バックアップ含む)は、圧縮フォルダでの運用をサポートしていません。                                                                                                               |                                                                                                        |

4 データベース環境の確認

1 データベースについて

レッツ原価管理G○!のデータはSQL Server 2017 を使用します。  
会社データは指定したインスタンス名の領域に作成されます（既定『LETS』）  
本製品のCD-ROMには、SQL Server 2017 Express Editionが同梱されています。

- ※ SQL Server 2017 Express Editionではデータ領域は1会社ファイルにつき最大10GBまでです。
- ※ 20クライアント以上の場合は、SQL Server 2017 上位エディションの使用を推奨します。

2 既にSQL Serverがインストールされている場合

既にSQLServerがインストールされているコンピュータにレッツ原価管理G○!のCD-ROMよりデータベースをインストールしようとする次のようになります。

| インストール済の環境                                  | 動作                                      |
|---------------------------------------------|-----------------------------------------|
| SQL Server 2017                             | SQL Server 2017 Expressのインスタンス作成が行われます。 |
| SQL Server 2019                             |                                         |
| SQL Server 2014                             |                                         |
| SQL Server 2012 R2                          |                                         |
| SQL Server 2012                             |                                         |
| SQL Server 2008 R2                          |                                         |
| SQL Server 2008                             |                                         |
| SQL Server 2005                             |                                         |
| SQL Server 2000 (MSDE 2000)                 |                                         |
| SQL Server 7.0 (MSDE 1.0)<br>SQL Server 6.5 | 動作保障致しかねます。<br>別のコンピュータにインストールしてください。   |

## 5 ネットワーク環境の確認（スタンドアロンで使用する場合は不要）

### 1 ネットワーク（LAN）環境

LAN（ネットワーク）が正常に動作しているかを確認してください。

各クライアントコンピュータの「（マイ）ネットワーク」を開き、サーバーコンピュータが表示されていて、ログオンが可能であることを確認します。

TCP / IP V4が動作しているか確認してください。

#### 通信速度

100BASE-T以上

無線LANは、ネットワークの接続が不安定で、データ破損の原因となります。

有線LANでご使用下さい。

#### ルーターでの接続

同一のルーターに接続されているコンピュータ間で使用して下さい。

#### 省電力の設定

レッツ原価管理G o ! の起動中に、「スリープ」や「スタンバイ」などの省電力モードにならないように設定して下さい。

#### その他の注意点

サーバーコンピュータとクライアントコンピュータのコンピュータ名を同名にしないで下さい。

サーバーコンピュータとクライアントコンピュータ間で、PINGコマンドを実行した際

正しく動作することを確認して下さい。

(timeは1ms以下で安定していること)

### 2 ネットワーク（WAN）環境

リモートデスクトップサービスが必要です。

- ・リモートデスクトップサーバー機のメモリ容量の目安

OSが要求する容量 + (推定同時使用クライアント数 × 400MB)

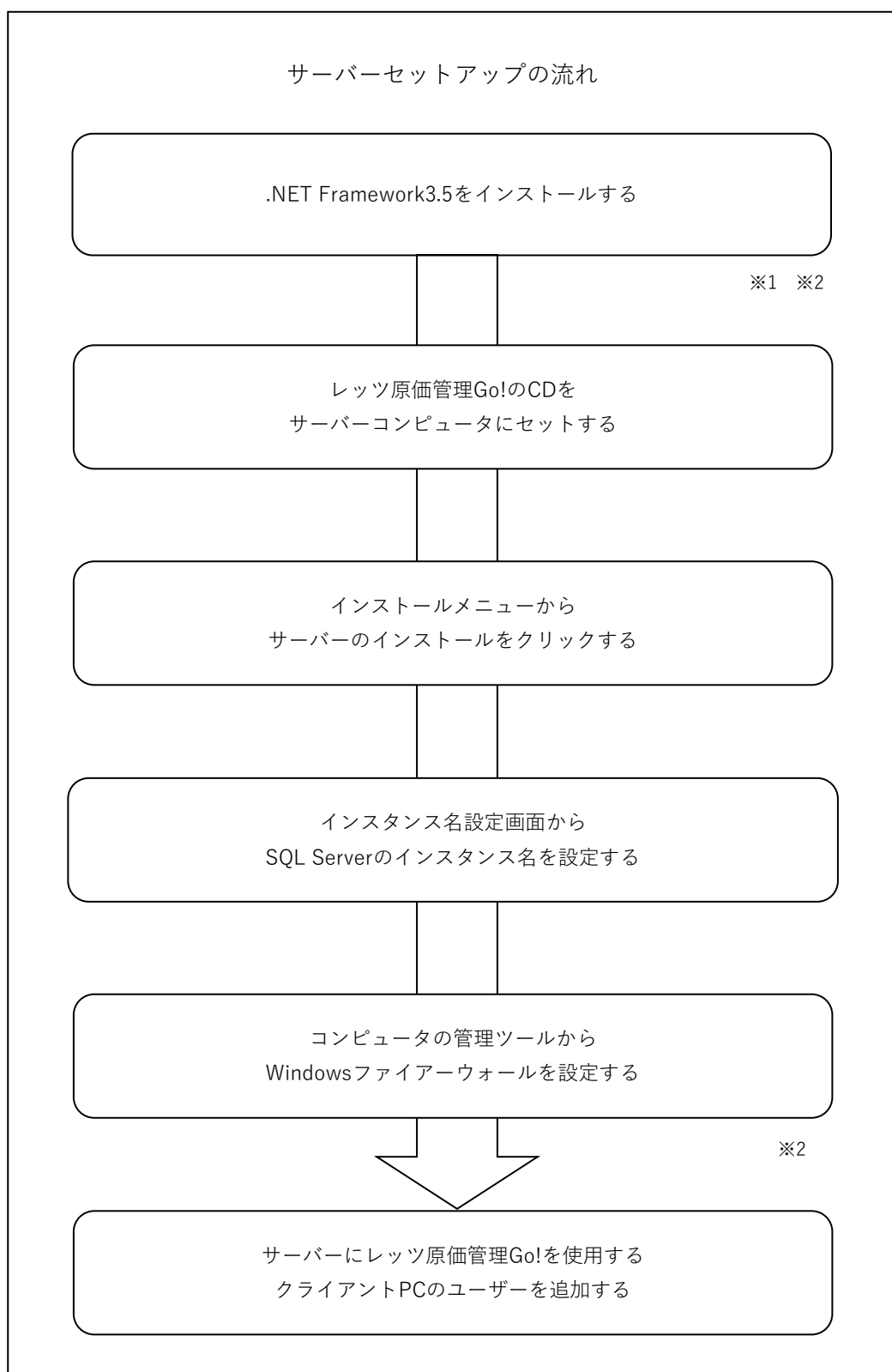
セットアップ方法は 別冊「WAN環境で使用する場合のセットアップ」を参照してください。

## 6 その他

### その他のアプリケーションの停止

インストールするコンピュータで他のアプリケーションが起動していないことを確認してください。（ディスクメンテナンス、常駐セキュリティソフトも含む。セキュリティソフトの機能によりインストールが正常に行われな可能性もあります）

## 第2章 サーバーのセットアップ



※1. 使用OSがWindows Server 2012 (R2), 2016, 2019, 2022の場合は、手動によるインストールが必要です。

※2. スタンドアロンの場合、この操作は不要です。

## 1 インストール前の確認事項

### 1 ハードディスクの空き容量

インストール時には、ハードディスクの空き容量が1GB以上必要です。  
別途、データ領域として同一コンピュータ上に別途10GB以上の空き領域が必要です。

### 2 ネットワーク（スタンドアロンで使用する場合には不要）

ネットワーク環境を確認して下さい。

☞ 1-5 インストールの前に 5. ネットワーク環境の確認

### 3 インストールするユーザーの権限

管理者権限を持っているユーザーでインストールして下さい。

### 4 データベースのインストール先

インストール先のドライブ又はフォルダが、読み取り専用や暗号化、圧縮されていないことを確認して下さい。

#### 【確認】

既にご購入済みのSQL Serverの上位エディションをご利用いただくことが可能です。  
(マニュアル：<CD-ROM>¥Documents¥SQL Server設定マニュアル¥SQLSetting.pdf)

その場合、先上記マニュアルに従い SQL Serverのインストールを行ってください。  
その後、当マニュアルの 2-5. 6. SQL Serverのインスタンス名指定画面で、別紙SQL Server設定マニュアルP. 3の6で設定したインスタンス名を指定してください。

#### 【注意】

サーバー名とログインユーザー名が一緒の場合、SQL Serverをインストールすることができません。  
サーバー名かユーザー名を変更してからインストールを行ってください。

#### 【WAN環境で使用する場合】

セットアップ方法は別冊「WAN環境で使用する場合のセットアップ」を合わせてご確認ください。

## 2.NET Framework3.5のインストール

お使いのOSがWindows Server 2012(R2), 2016, 2019, 2022, Windows 8.1, 10, 11の場合、手動でのインストールが必要です。

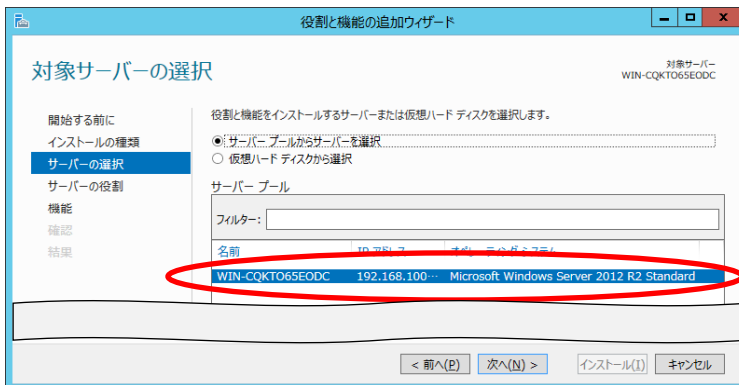
☞ 4-9 補足 .NET Framework 3.5のインストール  
インストール先のドライブが圧縮されているとインストールが失敗します。圧縮解除してください。

### OWindows Server 2012(R2), 2016, 2019, 2022の場合

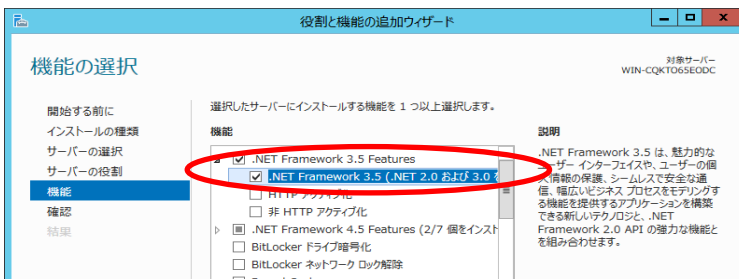
- ① [スタート]→[管理ツール]から[サーバーマネージャー]を起動します。
- ② [ダッシュボード]をクリックし、[役割と機能の追加]を選択します。



- ③ 役割と機能の追加ウィザードを以下の手順で設定します。
  - ・[開始する前に]で「次へ」をクリックします。
  - ・[インストールの種類を選択]で「役割ベースまたは機能ベースのインストール」を選択し「次へ」をクリックします。
  - ・[対象サーバーの選択]で「サーバープールからサーバーを選択」を選び、サーバープールから.NET Frameworkをインストールするサーバーの名前をクリックします。



- ・[サーバーの役割選択]でアプリケーションサーバーを選択し「次へ」をクリックします。
- ・[機能の選択]で.NET Framework 3.5 Featuresをクリックし、.Net Framework3.5にチェックを入れて「次へ」をクリックします。



- ・[インストールオプションの確認]でインストールをクリックします。  
.NET Frameworkのインストールが行われるので、インストールが完了したら「閉じる」をクリックします。

### 3 SQL Server 2017 のインストール

1 レッツ原価管理Go!のCD-ROMをサーバーコンピュータにセットします。

インストール画面が表示されます。

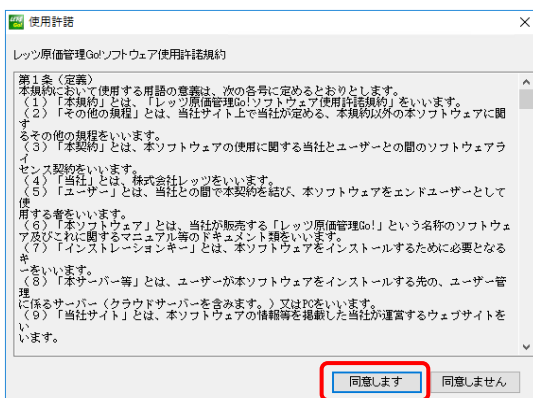
☞ 5-2 トラブルシューティング インストーラーが自動的に起動しない

2 「サーバーのインストール」をクリックします。



3 レッツ原価管理Go!の使用許諾規約画面が表示されます。

使用許諾規約内容を読み、同意いただける場合は「同意します」をクリックします。



※同意しない場合、インストールはできません

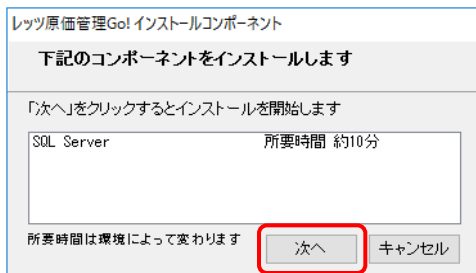
4 インストール開始前の注意メッセージが表示されます。

セキュリティソフトの無効化、Windows Updateの確認を行い「次へ」をクリックします。

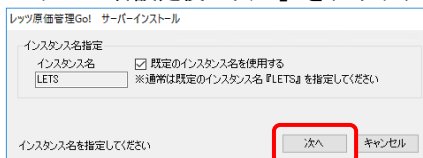


## サーバーのセットアップ

- 5 インストールされるコンポーネントのリストが表示されます。  
内容を確認して「次へ」をクリックします。



- 6 SQL Serverのインスタンス名設定画面が開きます。  
インスタンス名設定後「次へ」をクリックします。



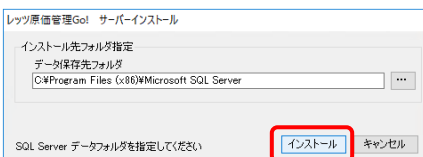
- レッツ原価管理Go!で使用するインスタンス名を変更したい場合

「既定のインスタンス名を使用する」のチェックをOFFにすると、インスタンス名の入力が可能になります。任意のインスタンス名を入力してください。

※通常はインスタンス名に既定の『LETS』を使用することをお勧め致します。

- ・インスタンス名はクライアントのインストール時に必要ですのでメモしておきます。
- ・既に存在しているインスタンス名を指定した場合、インスタンスの作成はスキップされます。  
【重要】レッツ製品以外で使用しているインスタンス名は指定しないで下さい。

- 7 SQL Serverのデータ保存先指定画面が開きます。



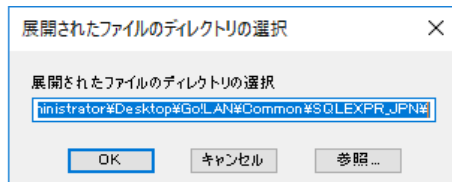
- データの保存先フォルダを変更したい場合

インストール先フォルダ指定の[...]ボタンをクリックし、データ保存先のフォルダを指定してください。

- ・インストール先のドライブ又はフォルダが、読み取り専用や暗号化、圧縮されてないことを確認して下さい。

上記内容を設定、確認後「インストール」ボタンをクリックしてください。

※「インストール」ボタンのクリック後、以下の画面が開く場合があります。  
その場合は内容を変更せず「OK」ボタンをクリックしてください。



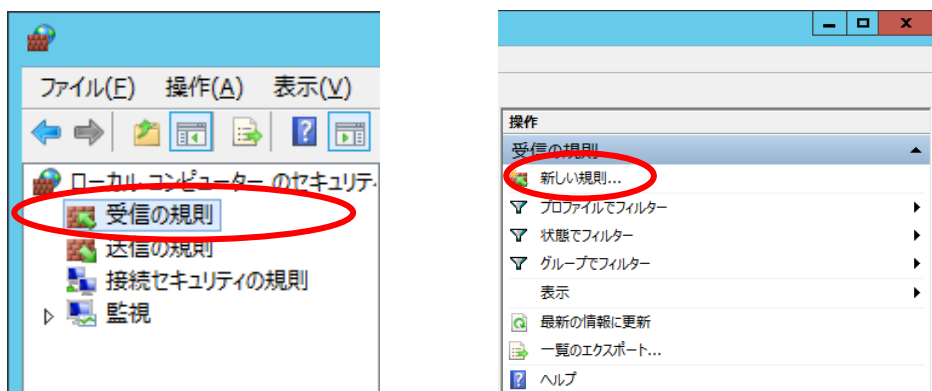
- ・SQL Server 2017 のインストールが終了すると再起動が必要になります。  
再起動を求められた場合、他に起動しているソフトウェアが無いことを確認後、再起動を行ってください。

- 8 インストールが終了すると「レッツ原価管理Go!のサーバーのインストールが完了しました」と表示されます。

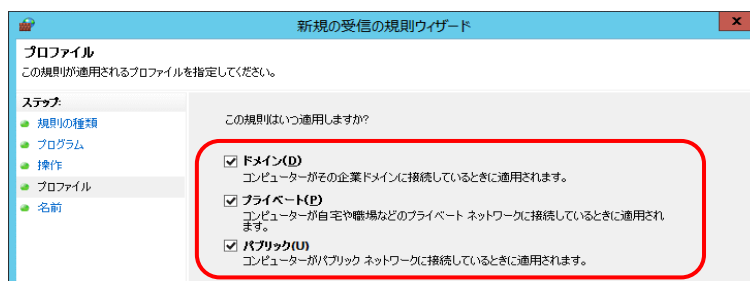
## 4 Windows ファイアウォールの設定 (スタンドアロンで使用する場合は不要)

### ○Windows Server 2012 (R2), 2016, 2019, 2022の場合

- 1 [スタートメニュー] → [Windows 管理ツール]から  
[セキュリティが強化された Windows ファイアウォール]を起動します。
- 2 セキュリティが強化された Windows ファイアウォールの設定画面で「受信の規則」を選択し「新しい規則」をクリックします。



- 3 「新規の受信の規則ウィザード」画面を以下の手順で設定します。
  - 3-1. [規則の種類]で[プログラム]を選択し「次へ」をクリックします。
  - 3-2. [プログラム]で[このプログラムのパス]を選択し「参照」ボタンから下記のプログラムを指定します。  
(例) C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL14.LETS\MSSQL\Binn\sqlservr.exe
  - 3-3. [操作]で[接続を許可する]を選択し「次へ」をクリックします。
  - 3-4. [プロファイル]で[ドメイン][プライベート][パブリック]すべてにチェックが入っていることを確認し「次へ」をクリックします。



- 3-5. [名前]で[名前]の項目に「SQL Server」と入力し「完了」をクリックします。

- 4 2の手順で再度「新規の受信の規則ウィザード」画面を起動します。

- 5 「新規の受信の規則ウィザード」画面を以下の手順で設定します。
  - 5-1. [規則の種類]で[プログラム]を選択し「次へ」をクリックします。
  - 5-2. [プログラム]で[このプログラムのパス]を選択し「参照」ボタンから下記のプログラムを指定します。  
(例) C:\Program Files (x86)\Microsoft SQL Server\90\Shared\sqlbrowser.exe  
※32bit版OSの場合 C:\Program Files\Microsoft SQL Server\90\Shared\sqlbrowser.exe
  - 5-3. [操作]で[接続を許可する]を選択し「次へ」をクリックします。
  - 5-4. [プロファイル]で[ドメイン][プライベート][パブリック]すべてにチェックが入っていることを確認し「次へ」をクリックします。
  - 5-5. [名前]で[名前]の項目に「SQL Browser」と入力し「完了」をクリックします。

## サーバーのセットアップ

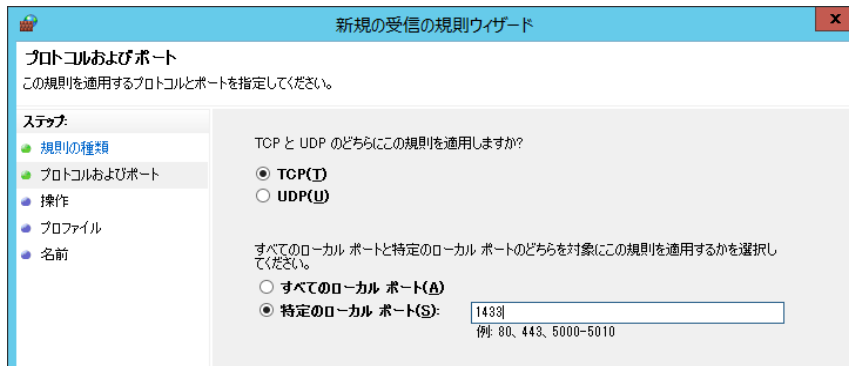
6 2の手順で再度「新規の受信の規則ウィザード」画面を起動します。

7 「新規の受信の規則ウィザード」画面を以下の手順で設定します。

7-1. [規則の種類]で[ポート]を選択し「次へ」をクリックします。

7-2. [プロトコルおよびポート]のTCPとUDPの選択で「TCP」を選択します。

7-3. [プロトコルおよびポート]のすべてのローカルポートと特定のローカルポートの選択で「特定のローカルポート」を選択し、ポート番号に「1433」を入力します。



7-4. [操作]で[接続を許可する]を選択し「次へ」をクリックします。

7-5. [プロファイル]で[ドメイン][プライベート][パブリック]すべてにチェックが入っていることを確認し「次へ」をクリックします。

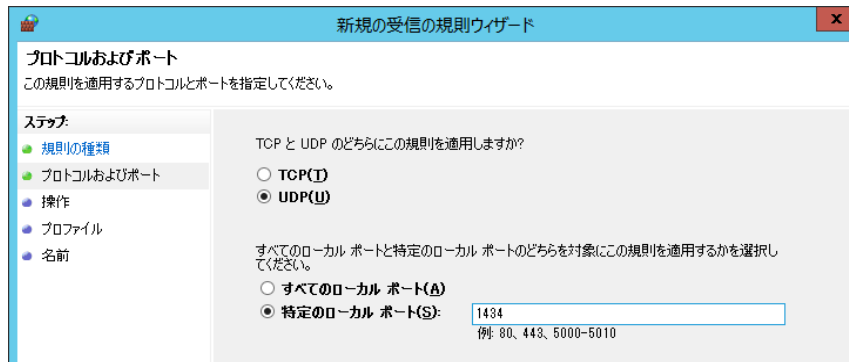
7-6. [名前]で[名前]の項目に「TCP 1433Port」と入力し「完了」をクリックします。

8 2の手順で再度「新規の受信の規則ウィザード」画面を起動します。

8-1. [規則の種類]で[ポート]を選択し「次へ」をクリックします。

8-2. [プロトコルおよびポート]のTCPとUDPの選択で「UDP」を選択します。

8-3. [プロトコルおよびポート]のすべてのローカルポートと特定のローカルポートの選択で「特定のローカルポート」を選択し、ポート番号に「1434」を入力します。



8-4. [操作]で[接続を許可する]を選択し「次へ」をクリックします。

8-5. [プロファイル]で[ドメイン][プライベート][パブリック]すべてにチェックが入っていることを確認し「次へ」をクリックします。

8-6. [名前]で[名前]の項目に「UDP 1434Port」と入力し「完了」をクリックします。

以上でWindowsファイアウォールの設定は完了です。

## 5 サーバーユーザの追加（スタンドアロンで使用する場合は不要）

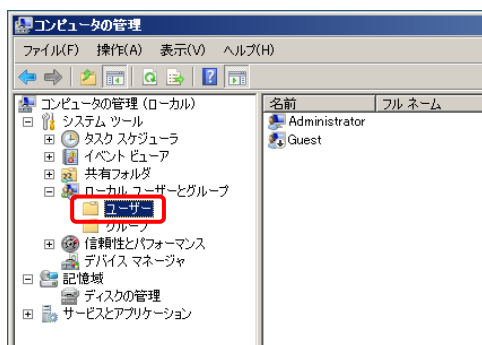
以下はWorkgroup環境の場合の設定です。

レッツ原価管理Go!を使用するクライアントPCのユーザーをサーバーに追加します。

- ・サーバーにログオン可能な場合、この作業は必要ありません。
- ・Active Directory環境の場合は、ドメインコントローラー上でユーザーの追加を行ってください。

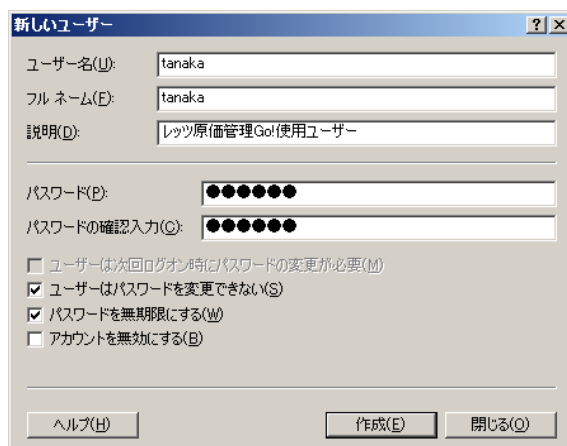
1 [スタートメニュー] → [Windows 管理ツール] → [コンピュータの管理]を起動します。

2 コンピュータの管理画面の[システムツール] → [ローカルユーザーとグループ] → [ユーザー]を選択します。



3 表示された画面右側に登録済のユーザー一覧が表示されるので、レッツ原価管理Go!を使用するユーザーが登録されていない場合は右クリックメニューの「新しいユーザー」をクリックします。

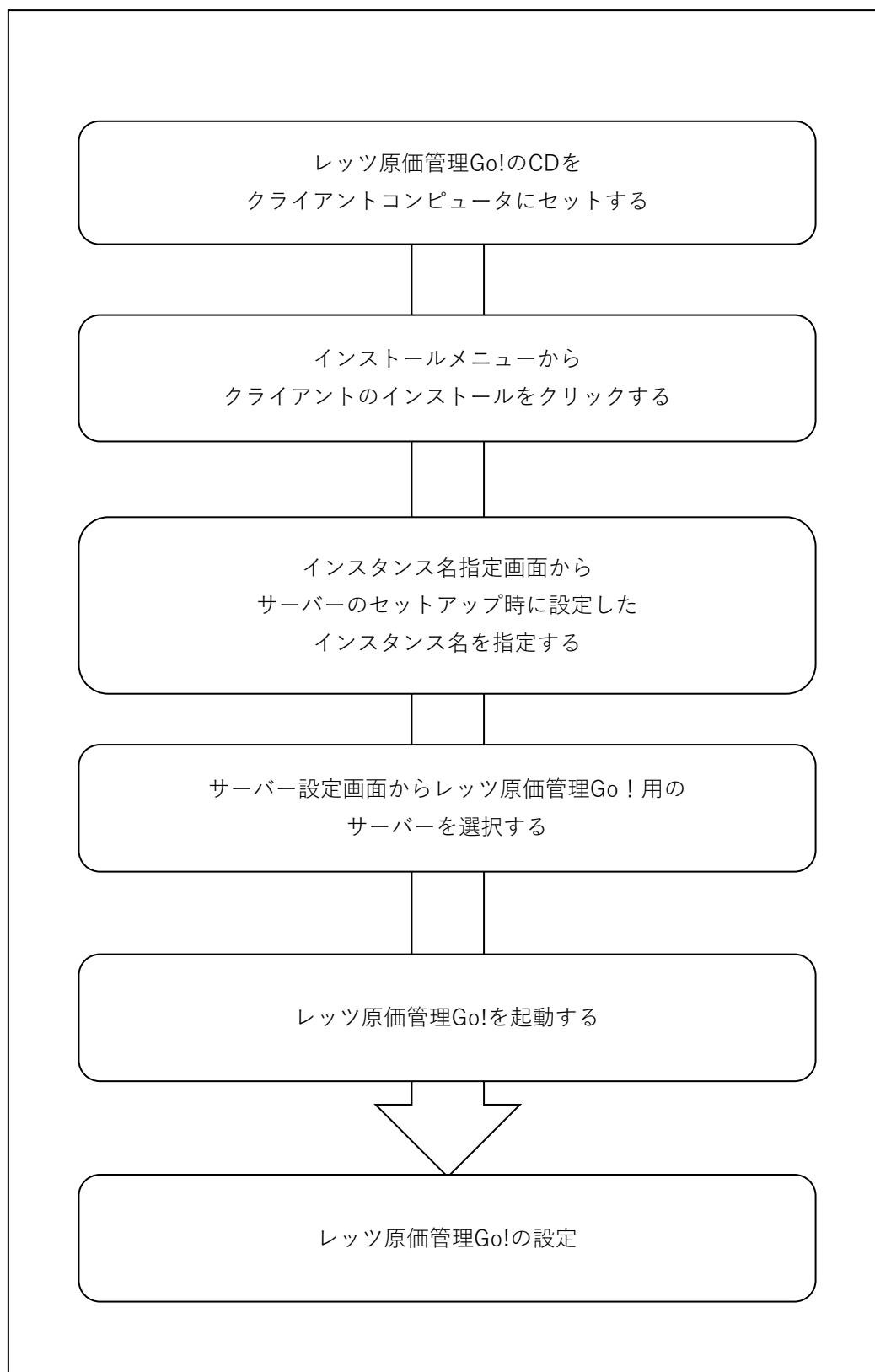
4 新しいユーザーの登録画面でユーザー情報を入力し「作成」ボタンでサーバーに登録します。



5 上記手順を使用するユーザー分繰り返します。

以上でユーザーの登録は完了です。

## 第3章 クライアントのセットアップ



## 1 インストール前の確認事項

### 1 ハードディスクの空き容量

インストール時には、ハードディスクの空き容量が4 0 0 MB 以上必要です。

### 2 ネットワーク（スタンドアロンで使用する場合には不要）

ネットワーク環境を確認して下さい。

☞ 1-5 インストールの前に 5. ネットワーク環境の確認

### 3 インストールするユーザーの権限

管理者権限を持っているユーザーでインストールして下さい。

### 4 サーバーのセットアップが完了していること

クライアントインストールの最中にサーバーを指定する必要があります。

サーバーのセットアップが完了していないとクライアントをインストールできません。

☞ 2-1 サーバーのセットアップ

※インストールを行う前に確認してください。

- ・ネットワークにサーバーが表示されている。
- ・PINGコマンドが通る。
- ・サーバーにユーザー名・パスワードを登録している。

### 【注意】

インストール先のドライブ又はフォルダが、読み取り専用や暗号化、圧縮されていないことを確認してください。

### 【WAN環境で使用する場合】

セットアップ方法は別冊「WAN環境で使用する場合のセットアップ」を合わせてご確認ください。

## 2 レッツ原価管理Go!のインストール

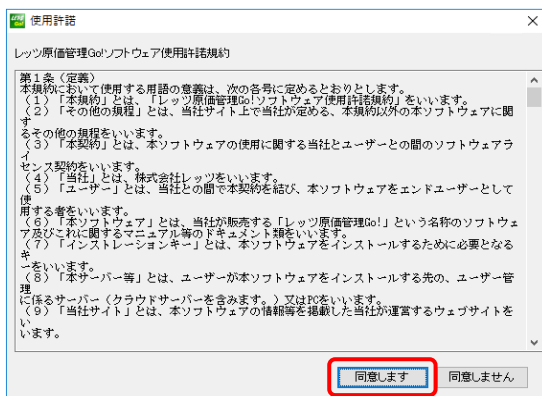
- 1 レッツ原価管理Go!のCD-ROMをクライアントコンピュータにセットします。  
インストール画面が表示されます。

☞ 5-2 トラブルシューティング インストーラが自動的に起動しない

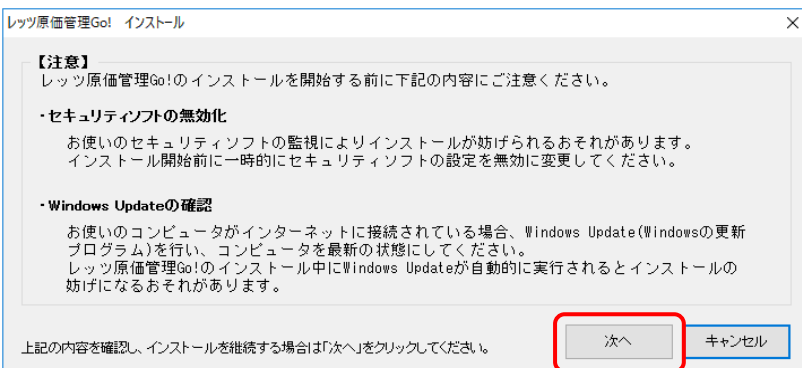
- 2 「クライアントのインストール」をクリックします。



- 3 レッツ原価管理Go!の使用許諾規約画面が表示されます。  
使用許諾規約内容を読み、同意いただける場合は「同意します」をクリックします。



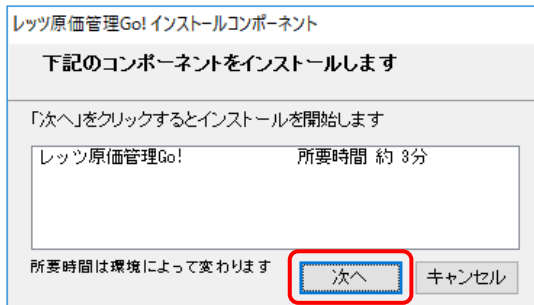
- 4 インストール開始前の注意メッセージが表示されます。  
セキュリティソフトの無効化、Windows Updateの確認を行い「次へ」をクリックします。



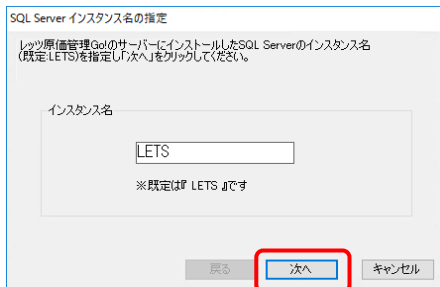
5 インストールされるコンポーネントのリストが表示されます。

内容を確認して「次へ」をクリックします。

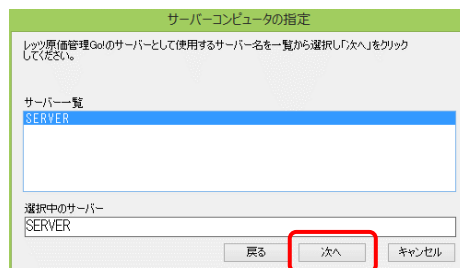
☞ 4-9 補足 8.NET Framework3.5のインストール



6 インスタンス名の指定画面が表示されます。サーバーのインストールの際(2-5.6)に指定したインスタンス名を入力してください。(既定:LETS)



7 サーバーの指定画面が表示されます。サーバーの一覧リストに表示されているの中から、レッツ原価管理Go!用のサーバーの名前を選択し「次へ」をクリックします。



※表示されるコンピューター名は環境によって変わります。

※サーバー一覧にサーバー名が表示されない場合、以下の項目を確認してください。

- ① コンピューターがネットワークに接続されているか (LAN版の場合)
- ② 前画面で指定したインスタンス名が正しいか  
「選択中のサーバー」欄に直接サーバー名 又は IPアドレス を入力することも可能です。  
例) 「LETS-PC」 「192.168.100.123」

※サーバー選択時に「サーバーにアクセスできません」とメッセージが表示された場合、  
サーバー:パブリックのドキュメント¥LetsDataのプロパティの確認を行ってください。

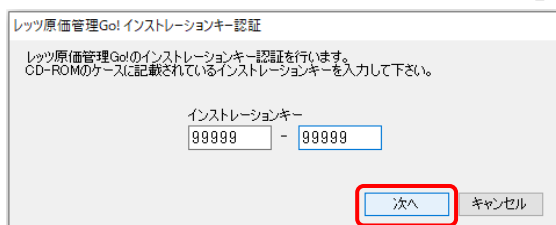
- ① セキュリティタブにEveryone 又は ユーザーにフルコントロールが付与されているか
- ② 共有タブ→詳細な共有→アクセス許可にEveryone 又は ユーザーにフルコントロールが付与されているか

※「次へ」をクリックした直後にエラーが発生した場合は、サーバーの設定が不完全な可能性があります。サーバーの設定を再度ご確認ください。

☞ 2-8 サーバーのセットアップ 5.サーバーへユーザーの追加

## クライアントのセットアップ

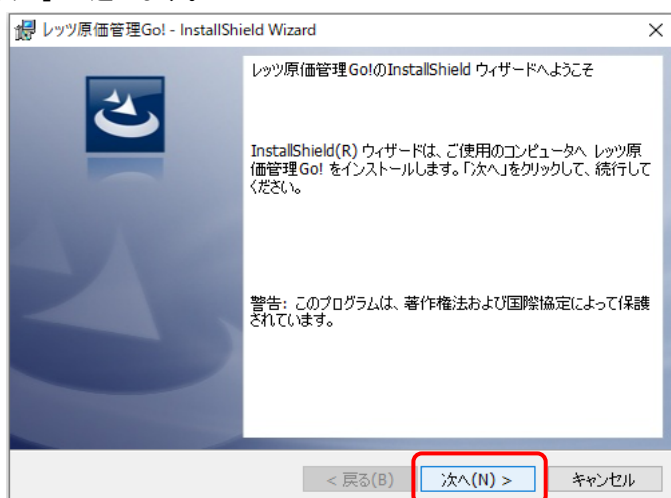
- 8 サーバーの選択後、インストレーションキー入力画面が表示されます。  
CD-ROMケースに入っているインストレーションキーを入力し「次へ」をクリックします。



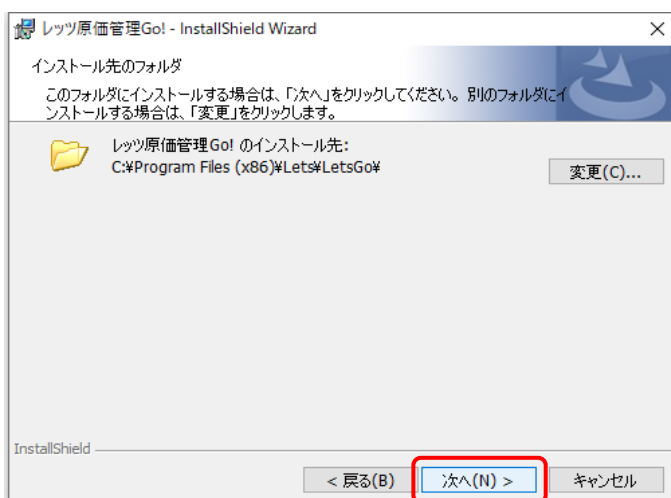
※「次へ」をクリックした直後エラーが発生した場合は、サーバーの設定が不完全な可能性があります。サーバーの設定を再度ご確認ください。

☞ 2-8 サーバーのセットアップ 5. サーバーヘユーザーの追加

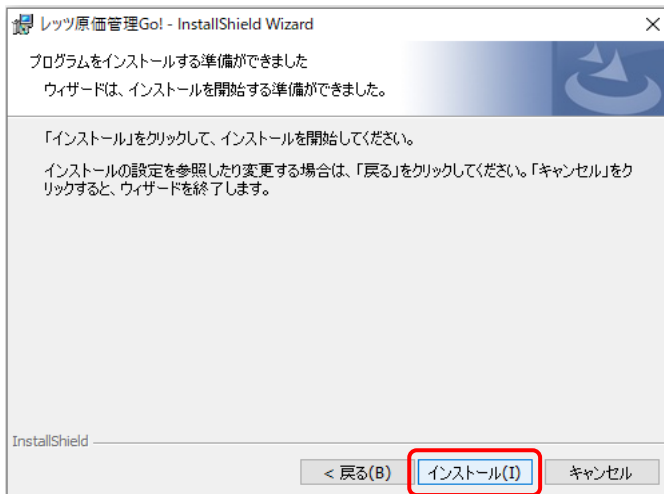
- 9 レッツ原価管理Go!本体のインストールウィザード画面が開きます。  
「次へ」で進めます。



- 10 インストール先指定画面が表示されます。変更する場合は「変更」ボタンをクリックし、インストール先を指定します。  
「次へ」をクリックします。



- 11 インストールの準備完了画面が表示されます。  
「インストール」ボタンをクリックするとインストール処理が開始されます。



- 12 インストールが終了すると完了画面が表示されます。  
「完了」ボタンでクライアントのインストールを終了します。



- 13 他のクライアントコンピュータにも上記の手順でインストールします。

以上でクライアントのインストールは終了です。

### 3 レッツ原価管理Go!の起動とサーバーの選択

レッツ原価管理Go!のデータを保存するSQL Serverを選択します。  
インストール手順[3-4の7]で設定したサーバーを選択します。

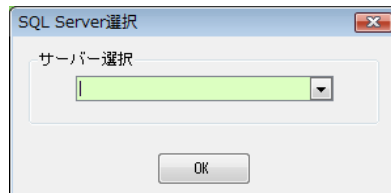
1 レッツ原価管理Go!を起動します。

デスクトップの  
ショートカットから  
起動します。



2 サーバー選択画面が表示されます。

※一度レッツ原価管理Go!をインストールした  
ことがあるコンピュータの場合表示されない  
場合があります。

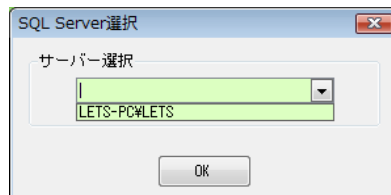


3 ドロップダウンリストよりサーバーを選択します。

レッツ原価管理Go!のデータを保存するSQL  
Serverを選択します。

インストール手順[3-4の7]で設定したサーバーを選  
択します。

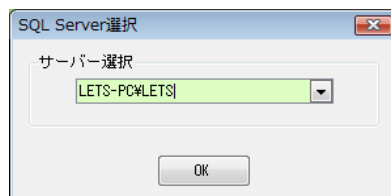
※ サーバー名は『<SERVERNAME>¥<インスタンス名>』  
で表示されます。  
(例) LETS-PC¥LETS



※ ドロップダウンリストに表示されない場合、直接サーバー名やIPアドレスを入力して指定します。  
(例) 「Server¥LETS」 「192.168.100.100¥LETS」

直接入力してもサーバーを選択できない場合、お手数ですが弊社までご連絡ください。

4 [OK]ボタンをクリックします。



5 レッツ原価管理Go!のメインメニューが表示されます。

インストール作業はこれで完了です。



## 4 バックアップ

## データのバックアップを必ずお取りください！

パソコンのトラブルで万が一データが壊れてしまった場合、バックアップデータがないと入力したデータはすべて失われてしまいます。そうなってしまったら、一から入力し直すしかありません。

あとで泣くことにならないように、必ずデータのバックアップを行ってください。

※他社製バックアップソフトの復旧作業はサポート出来かねますので、**レッツ原価管理Go!標準のバックアップ機能をお使いください。**

※レッツ原価管理Go!標準のバックアップデータが無い場合およびバックアップデータ破損の場合、データ復旧が出来ない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

作業終了後には異常終了した場合を除いて**必ず**バックアップの操作を行ってください。

- 1 アイコンメニュー「補助」タブから「バックアップ」を選ぶとバックアップ画面が表示されます。

※「環境設定」→「基本設定」タブの「バックアップ」□終了時にバックアップを実行する」にチェックしておく、本システム終了時に自動的に「バックアップ」画面が表示されます。

- 2 「バックアップ元」を確認の上、「バックアップ先」を指定します。

※「バックアップ先」は必ず本システムとは別のドライブを指定してください。  
同一ドライブ・フォルダを指定した場合の動作は保証いたしかねます。

- 3 「実行」を選ぶと処理を開始し、終了後、本システムに戻ります。

## バックアップは毎日

せっかくバックアップデータがあっても、それが数ヶ月前というのでは意味がありません。**バックアップは毎日必ず取りましょう。**

またバックアップがうまく取れなかったり、異常なデータをバックアップしてしまったりする可能性もあるので、念のため複数のバックアップデータを持つことをお奨めします。

例:

USBメモリで偶数日と奇数日の二組

USBメモリとハードディスクの二組

※データに異常を感じたときは、別のメディアや別フォルダにバックアップし、前回までの正常なバックアップデータを消さないようにしてください。

## 第4章 補足

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| 1 プログラムの再インストール                     | 4-2 |
| 2 クライアントの追加                         | 4-3 |
| 3 クライアントの変更                         | 4-3 |
| 4 サーバーコンピュータの変更                     | 4-3 |
| 5 SQL Serverエディションの変更               | 4-4 |
| 1 現サーバーのエディションを変更する場合               | 4-4 |
| 2 別のサーバーコンピュータにあるSQL Serverに切り替える場合 | 4-4 |
| 6 アンインストール                          | 4-5 |
| 1 レッツ原価管理Go!のアンインストール               | 4-5 |
| 2 データベース（レッツ原価管理Go!用インスタンス）の削除      | 4-6 |
| 7 .NET Framework 3.5のインストール         | 4-9 |

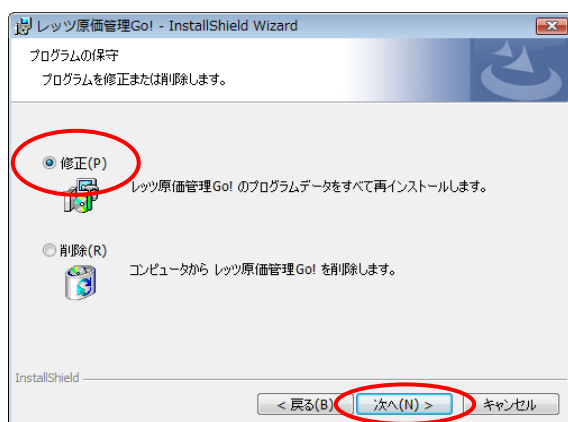
## 1 プログラムの再インストール

何らかの原因でレッツ原価管理Go! が起動しなくなった場合や、更新プログラムが提供された場合に実行し、プログラムの修正を行います。

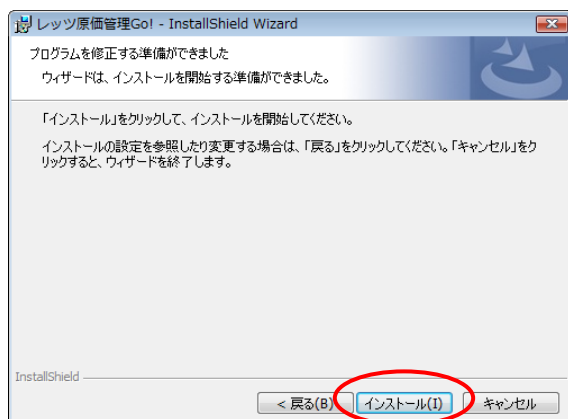
他に起動しているソフトウェアがある場合は終了させてください。

- 1 お使いのコンピュータにレッツ原価管理Go!のインストールCD-ROMをセットします。
- 2 「クライアントのインストール」をクリックします。
- 3 P. 3-3 「2 レッツ原価管理Go!のインストール」の手順1～9の後、下記の画面が開きます。

- 4 「修正」を選択し「次へ」をクリックします。



- 5 「インストール」をクリックします。



- 6 再インストール処理が実行されます。最後に「完了」ボタンをクリックします。

- ※ ・会社データに対しての修正は行われません。
  - ・プログラムの修正を行うことで会社データに対して影響はありません。
- 再インストール後は、既存の会社データをそのままご使用いただけます。

## 2 クライアントの追加

- 1 追加するクライアント(ユーザー)をサーバーに追加します。

☞ 2-8 サーバーのセットアップ 5.サーバーへユーザーの追加

- 2 クライアントをセットアップします。

☞ 3-1 クライアントのセットアップ

## 3 クライアントの変更

クライアントコンピュータの故障や、グレードアップなどの為、別のコンピュータでレッツ原価管理G o !を使用する場合に実行します。

- 1 現在使用中のコンピュータが動作する場合、レッツ原価管理G o !をアンインストールします。

☞ 4-5 補足 アンインストール

- 2 新しいコンピュータにインストールします。  
手順は、クライアントのインストールと同じです。

☞ 3-1 クライアントのセットアップ

**注意** 旧コンピュータで使用していたときの設定は新コンピュータに引き継がれません。  
画面設定や集計条件等が、初期設定に戻っています。

## 4 サーバーコンピュータの変更

サーバーコンピュータの故障や、グレードアップなどの為、別のコンピュータをレッツ原価管理G o !のサーバーにする場合に実行します。

- 1 レッツ原価管理G o !のバックアップを取ります。  
複数会社データがある場合はすべての会社データのバックアップを取ります。

【重要】 バックアップが無い場合、新サーバーにデータを引き継ぐことはできません。

- 2 新しいサーバーコンピュータにデータベースをインストールします  
手順は、サーバーのセットアップ手順と同じです。

☞ 2-1 サーバーのセットアップ

- 3 クライアントでレッツ原価管理G o !を起動し、「会社新規作成」を開きます。  
サーバー選択で新しいサーバーを選択し、新規に会社を作成します。

- 4 新しく作った会社データに1.で作ったバックアップデータを復帰させます。  
(複数の会社データが有る場合は3→4の作業を繰り返し、すべて復帰させます)

- 5 旧サーバーより、データベースを削除します。

☞ 4-6 補足 データベース(レッツ原価管理Go!用インスタンス)の削除

## 5 SQL Serverエディションの変更

SQL Serverを上位エディションに変更する方法です。データ量が多く処理時間が長いかかる場合やクライアント数が多い場合には、サーバーコンピュータのアップグレードと共にSQL Server 2017 Expressエディションより上位エディションの使用をご検討下さい。

### 1 現サーバーのエディションを変更する場合

- 1 安全の為、レッツ原価管理Go!のバックアップを取ります。  
複数会社データがある場合はすべての会社データのバックアップを取ります。  
  
**【重要】** バックアップが無い場合のデータリカバリは対応できません。
- 2 SQL Server 2017 のセットアップ手順により上位エディションをインストールします。  
レッツ原価管理Go!で使用するインスタンスを上位エディションに変換します。(既定: LETS)  
(詳細は、SQL Server に添付の説明をご覧ください)  
  
※クライアントコンピュータでの処理設定の変更はありません。  
継続してご使用できます。  
  
複数会社データがある場合はすべての会社データのバックアップを取ります。

### 2 別のサーバーコンピュータにあるSQL Serverに切り替える場合

- 1 旧サーバーでレッツ原価管理Go!のバックアップを作成します。
  - ・ 一台のクライアントコンピュータでレッツ原価管理Go!を起動後「ファイル」→「バックアップ」からバックアップファイルを作成します。(会社データ領域が複数存在する場合は、すべての会社データ領域からバックアップファイルを作成します)  
**【重要】** バックアップが無い場合、新サーバーにデータを引き継ぐことはできません。
- 2 新サーバーコンピュータのセットアップを行います。  
☞ 2-1 サーバーのセットアップ
- 3 新サーバーに会社データ領域を作成します。
  - ・ 一台のクライアントコンピュータでレッツ原価管理Go!を起動後「会社新規作成」からサーバー選択で新サーバーを選択し、新規に会社データ領域を作成します。
- 4 新しく作った会社データ領域に1. で作成したバックアップを復帰させます。
  - ・ 一台のクライアントコンピュータでレッツ原価管理Go!を起動後「ファイル」→「データ復帰」から1. で作成したバックアップファイルを復帰します。(複数の会社データが有る場合は3→4の作業を繰り返し、すべて復帰させます)
- 5 他のクライアントコンピュータの会社データ領域を切り替えます。
  - ・ 他のクライアントコンピュータでレッツ原価管理Go!を起動後「ファイル」→「会社選択」から新サーバーを選択し、会社データ領域を切り替えます。  
 ※ クライアントコンピュータの会社データ領域を切り替えずに旧サーバーのデータベースインスタンスを削除すると、起動時に「データベースのバージョンが確認できませんでした」というメッセージが表示されます。必ずクライアントコンピュータの会社データ領域を切り替えた後に6の操作を行ってください。
- 6 旧サーバーより、レッツ原価管理Go!用のデータベースインスタンスを削除します。  
☞ 4-6 補足 データベース(レッツ原価管理Go!用インスタンス)の削除  
  
 ※ SQL Server 2017で作成した会社データのバックアップファイルをSQL Server 2017より古いバージョンのSQL Serverにデータ復帰することは出来ません。  
(レッツ原価管理Go!の出荷バージョン1.3.0より古いものはSQL Server 2008、1.6.30より古いものはSQL Server 2008 R2、1.17.0より古いものはSQL Server 2014を使用しています)

## 6 アンインストール

レッツ原価管理Go!をご使用になれなくなった場合以下の処理を行ってください。

- 1 レッツ原価管理Go!のアンインストール . . . . . 4-5
- 2 データベース（レッツ原価管理Go!用インスタンス）の削除 . . . . . 4-6

### 1 レッツ原価管理Go!のアンインストール

クライアントコンピュータからレッツ原価管理Go!プログラムを削除します。  
管理者権限のあるユーザーでログインしている状態で行ってください。

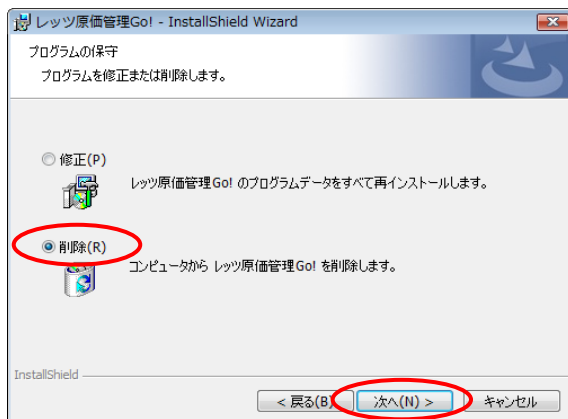
【メモ】 会社データは削除されません。 会社データの削除は、レッツ原価管理Go!プログラムの  
「会社データ削除」機能、もしくはP. 4-6「データベースの削除」でおこないます。  
※データベースの削除を行った場合、インスタンスに存在する全ての会社データが削除されます。

#### <CD-ROMを使用しない場合>

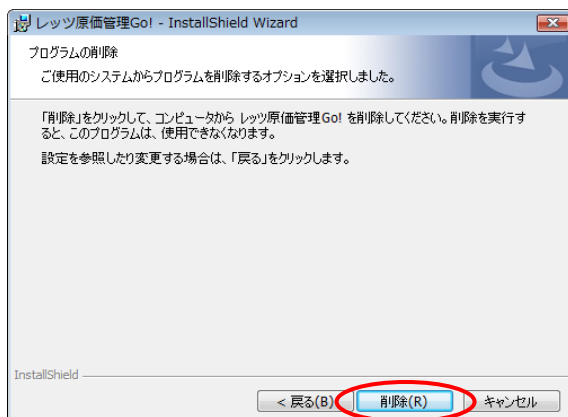
- 1 「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を開きます。
- 2 表示されたプログラムの一覧から「レッツ原価管理Go!」を選択し、「アンインストール」を実行します。

#### <CD-ROMを使用する場合>

- 1 レッツ原価管理Go!のインストールCD-ROMをセットします。
- 2 「クライアントのインストール」をクリックします。
- 3 P. 3-3「2 レッツ原価管理Go!のインストール」の手順1～9の後、下記の画面が開きます。
- 4 「削除」を選択し「次へ」をクリックします。



- 5 「削除」をクリックします。



- 6 プログラムの削除が実行されます。最後に「完了」ボタンをクリックします。

## 2 データベース（レッツ原価管理Go!用インスタンス）の削除

サーバーコンピュータ上のデータベースからレッツ原価管理Go!で使用しているインスタンスを削除します。

管理者権限のあるユーザーでログインしている状態で行ってください。

<流れ>

1. レッツ原価管理Go!用インスタンスの停止
2. レッツ原価管理Go!用インスタンスの削除

### 【重要】

- ・ インスタンスを削除すると、レッツ原価管理Go!用にデータベースに保存されているすべてのデータが削除され、元に戻すことはできません。  
インスタンスを削除する前にバックアップを作成し、そのバックアップファイルで正常に復旧できることを確認してください。
- ・ SQL Server 2017に他のソフトウェアのインスタンスが存在する場合があります。  
誤って他のインスタンスを削除しないようにご注意ください。削除してしまった場合のデータ復旧は弊社ではサポートできかねますのであらかじめご了承ください。

以下の操作はサーバーコンピュータで行います。

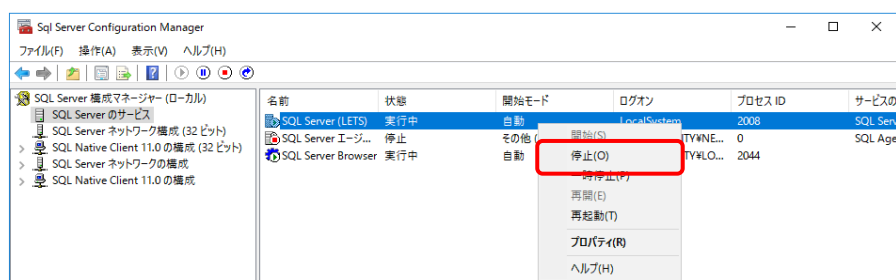
- 1 レッツ原価管理Go!を使用しているクライアントコンピュータがあればすべて終了します。
- 2 レッツ原価管理Go!用インスタンスの停止

- ① 「スタートメニュー」→「Microsoft SQL Server 2017」→  
「SQL Server 2017 構成マネージャー」を開きます。



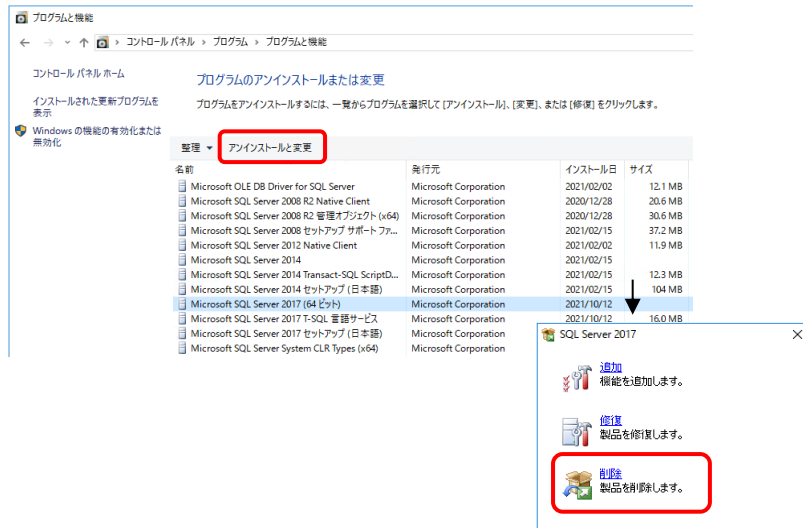
- ② 「SQL Serverのサービス」を選択し、画面右側で「SQL Server (\*\*\*\*)」※1 を右クリックし、表示されたメニューから「停止」をクリックします。

※1 \*\*\*\*はインストール時に指定した任意のインスタンス名(既定：LETS)



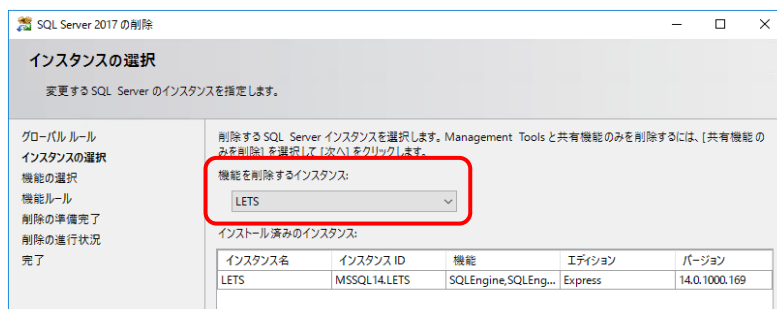
### 3 レッツ原価管理Go!用インスタンスの削除

- ① 「コントロールパネル」 → 「プログラムのアンインストール」を開きます。
- ② 表示されプログラムの一覧から「Microsoft SQL Server 2017」を選択します。  
「アンインストールと変更」ボタンをクリックします。

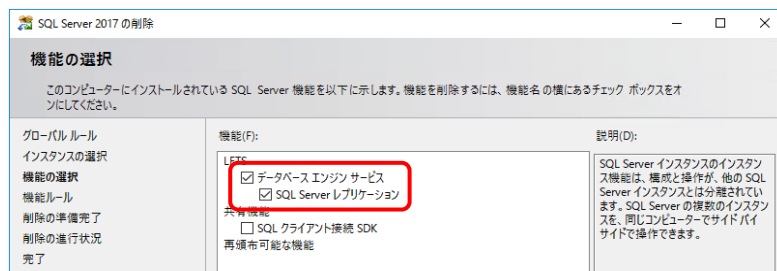


処理の内容は「削除」を選択します。

- ③ 「OK」をクリックし進めます。
- ④ 「インスタンスの選択」で削除するインスタンス名 ※1 を選択して「次へ」ボタンをクリックします。  
※1 インストール時に指定した任意のインスタンス名 (既定 : LETS)

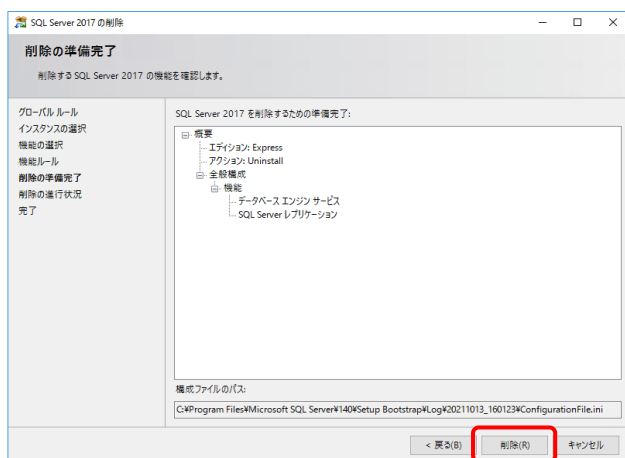


- ⑤ 「機能の選択」で「データベースエンジンサービス」と「SQL Serverレプリケーション」にチェックを入れ「次へ」をクリックします。



- ⑥ 「OK」をクリックし進めます。

⑦「削除」をクリックします。



⑧インスタンスの削除が実行されます。

以上でデータベースの削除は終了です。

- ※ インスタンスをすべて削除するとSQL Server 2017も一緒に削除されます。
- ※ SQL Server 2017をアンインストールした後、SQL Server 2017 T-SQL 言語サービス、SQL Server 2017 セットアップ(日本語)のアンインストールを行ってください。  
(他のアプリケーションでSQL Serverを使用している場合、この処理は行わないでください)

## 7.NET Framework 3.5のインストール

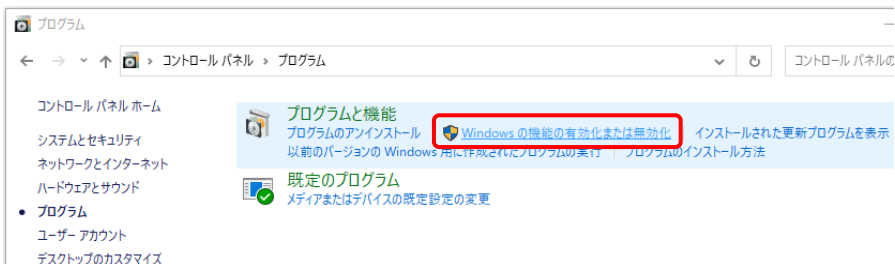
OSや環境により自動でインストールされない場合には、手動でインストールしてください。  
インストール先のドライブが圧縮されているとインストールが失敗します。圧縮解除してください。

### ○Windows 10,11の場合

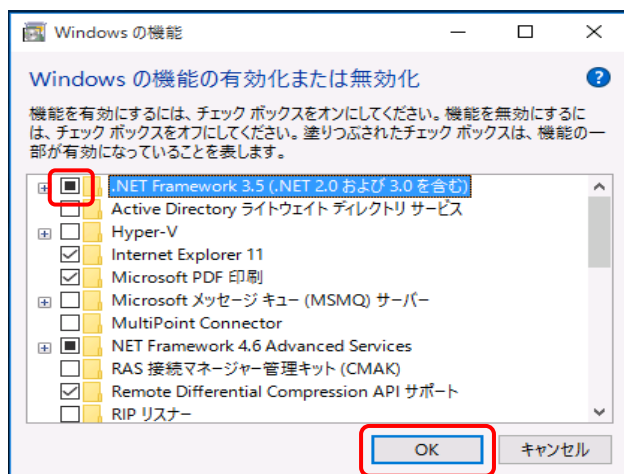
- ① [スタートメニュー] → [Windowsシステムツール] → [コントロールパネル]を起動します。  
※Windows 11の場合は、[スタートメニュー] → [すべてのアプリ] → [Windowsツール] → [コントロールパネル]の順で起動します。
- ② [プログラム]を選択します。



- ③ 「Windowsの機能の有効化または無効化」をクリックします。

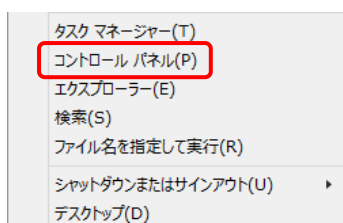


- ④ .NET Framework 3.5 (.NET 2.0および3.0を含む)のチェックボックスにチェックを入れ「OK」をクリックします。



## Windows 8.1の場合

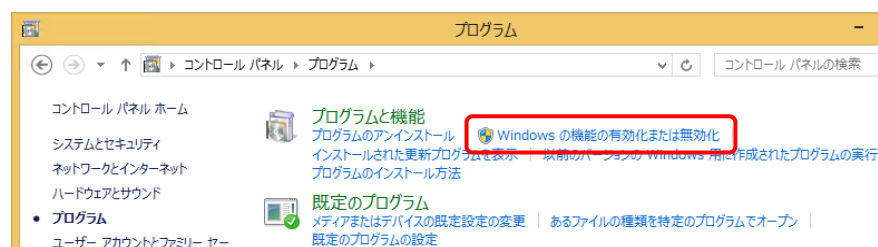
- ① スタートメニューアイコンを右クリックして、メニューから[コントロールパネル]を起動します



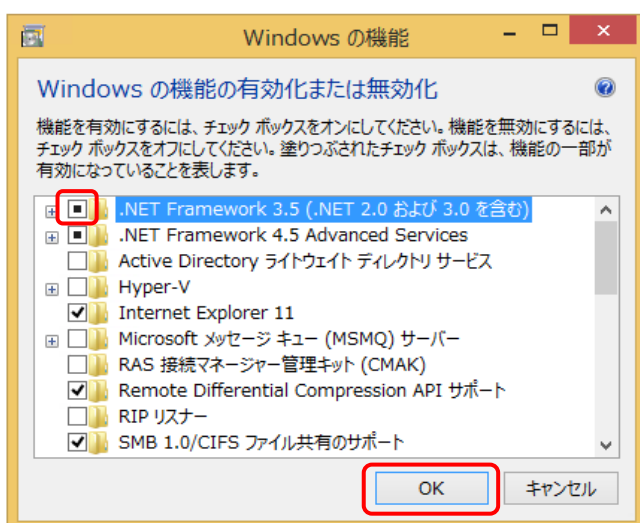
- ② [プログラム]を選択します。



- ③ [Windowsの機能の有効化または無効化]をクリックします。



- ④ .NET Framework 3.5 (.NET 2.0および3.0を含む) のチェックボックスにチェックを入れ「OK」をクリックします。



## 第5章    トラブルシューティング

- 1 インストール前のトラブル . . . . . 5-2
- 2 サーバーのセットアップ時のトラブル . . . . . 5-3
- 3 クライアントのセットアップ時のトラブル . . . . . 5-7

## 1 インストール前のトラブル

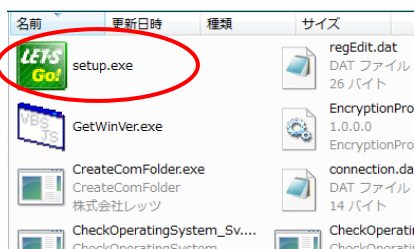
### 1 インストーラーが自動的に起動しない

レッツ原価管理G o ! のインストールCD-ROMをコンピュータに挿入してもインストーラーが自動で起動しない場合、下記の手順でインストーラーを手動で起動してください。

- ① 「(マイ) コンピュータ」を開きます。
- ② CD-ROMをセットしたドライブを開きます。



- ③ 「setup.exe」ファイルがありますのでダブルクリックします。



## 2 サーバーとクライアントのネットワークが繋がらない

下記の内容をご確認ください。

#### 周辺機器関連

- ・ HUBの電源は入っていますか？
- ・ LANケーブルは正しく接続されていますか？  
→ LANコネクタのランプが点灯しているか確認してください。

#### ネットワークの設定

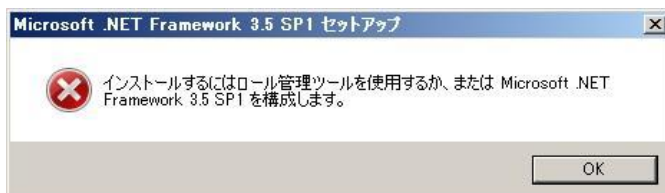
- ・ TCP/IPなどのネットワーク設定は完了していますか？
- ・ TCP / IP V4が動作していますか？
- ・ IPアドレスが重複していませんか？  
→ PCを起動した時に「ネットワーク上の別のシステムと競合しているIPアドレスがあります」と表示される場合はIPアドレスが重複している可能性があります。
- ・ サーバーへのアクセス権限はありますか？  
→ サーバーのLetsDataにアクセスできるか確認してください。
- ・ PINGコマンドは通りますか？
- ・ 同一セグメントに属していますか？  
→ サーバーとクライアントのIPアドレス xxx. yyy. zzz. xxx の下線部分が同じになっているか確認してください。

#### その他設定

- ・ ルーターの設定で、遮断されていませんか？
- ・ ファイアウォールの設定で遮断されていませんか？
- ・ セキュリティソフトの設定で遮断されていませんか？

## 2 サーバーのセットアップ時のトラブル

### 1 SQL Server 2017 のインストール時に注意メッセージが表示された



- ・インストールしようとしているサーバーのOSがWindows Server 2008 R2 以降の場合、インストーラーから .NET Framework をインストールすることができません。  
手動でインストールしてください。

☞ 4-9 補足 .NET Framework 3.5のインストール

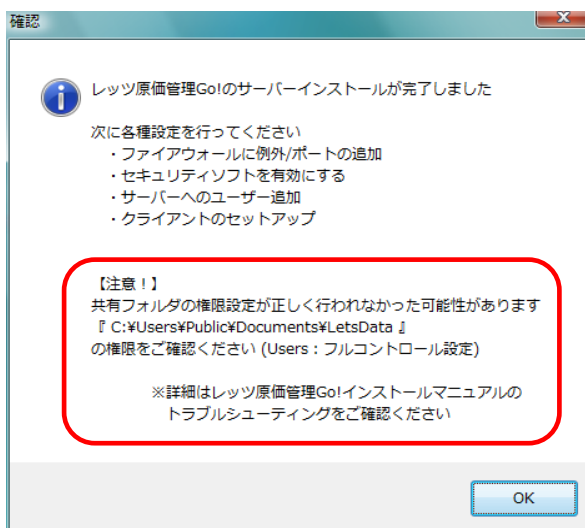
### 2 SQL Server 2017 のインストール時に、 セットアップサポートルール画面で 「コンピュータの再起動 (RebootRequiredCheck)」が失敗と出た



※SQL Server 2014の画面ですが、SQL Server 2017でも同様です

- ・サーバーを再起動後、再度インストールを実行して下さい。  
それでも現象が解消しない場合、お手数ですが弊社までご連絡下さい。

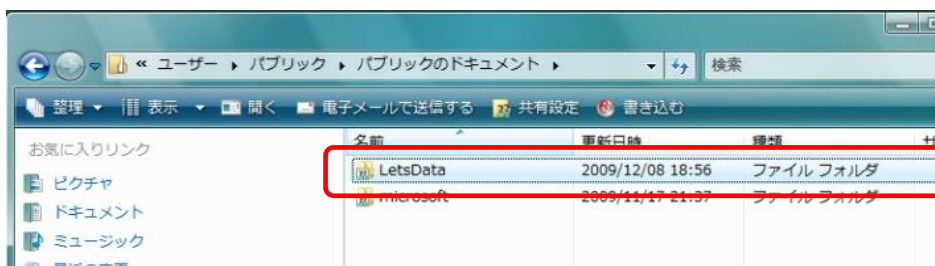
### 3 サーバーのセットアップ終了時に、下記の注意メッセージが表示された



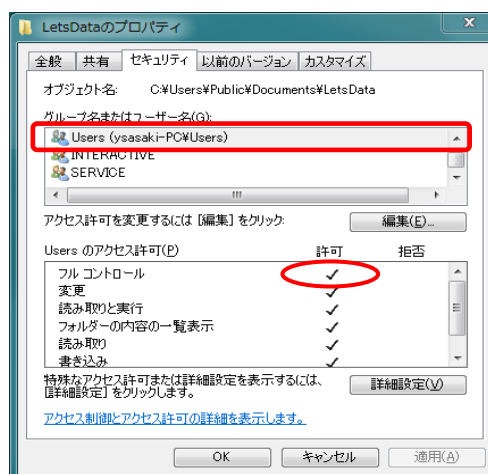
手動でレッツ原価管理Go!用の共有フォルダの権限設定を行います。手順は下記の通りです。

AllUserまたはパブリックのドキュメントの下の『LetsData』フォルダを右クリックし  
[プロパティ]を選択する。

C:\Users\Public\Documents\LetsData



1. Usersユーザーが追加されているかどうかの確認を行う
2. フルコントロール[許可]にチェックが入っているか確認する  
入っていない場合は[編集]ボタンをクリックし編集画面で設定する
3. Usersが存在しない場合は[編集]ボタンをクリックし編集画面から追加する



4. 追加したUsersユーザーにフルコントロール[許可]の権限を与える

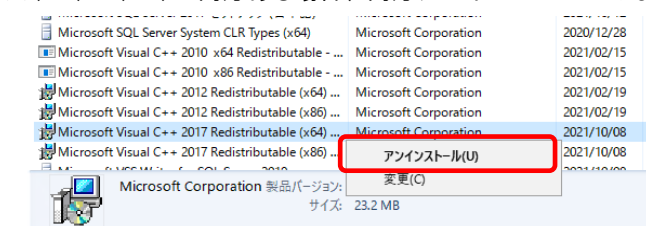
※他のOSをサーバーとしてお使いの場合も同様の作業になります

#### 4 サーバーのインストール完了メッセージが表示されたが、インストール時に指定したインスタンスが見つからない

5-8 「レッツ原価管理Go2の起動時に、「サーバーへ接続できません」とメッセージが表示された」のSQL Server の起動状態確認手順で、インストール時に指定したSQL Serverのインスタンスが見つからない場合は、SQL Serverのインスタンス作成に失敗している可能性があります。以下に該当していないか確認します。

- ・ [Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable]がインストールされていないか

1. [スタートメニュー]→[Windowsシステムツール]→[コントロールパネル]を起動します。
2. [プログラムのアンインストール]をクリックします。
3. [Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable]がインストールされている場合、右クリックして、[アンインストール]をクリックします。  
※ (x64) と (x86) が両方ある場合、両方アンインストールします。



4. [アンインストール]をクリックして、アンインストールを実行します。



5. 再度レッツ原価管理Go!のインストーラーが起動して[サーバーのインストール]を実行します。

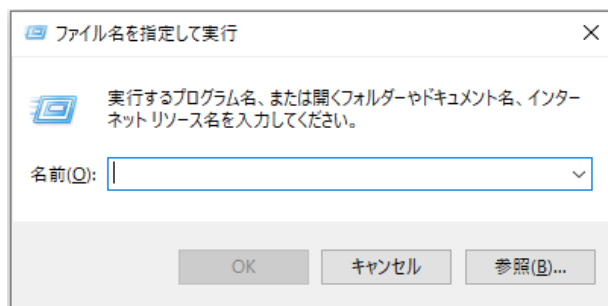
☞ 2-4 サーバーのセットアップ 3. SQL Server 2017のインストール

6. サーバーのインストール完了後、再度[Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable]をインストールします。

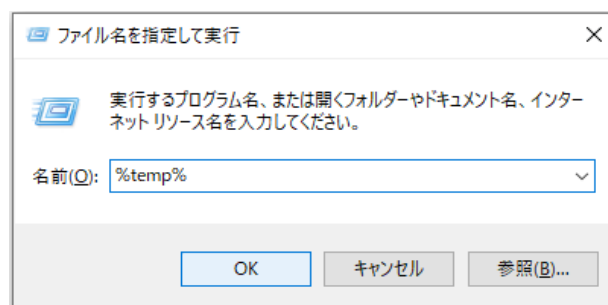
※インストール用パッケージはマイクロソフト社の公式サイトよりダウンロード可能です。

## 5 SQL Serverのインストール失敗または中断し、再度インストールする際の注意点

- tempフォルダ内のletsgo\_temp\_instancename.ini（インストール途中にしか残らないファイル）を削除してから再度SQL Serverのインストールを行ってください。
- tempフォルダの開き方
  - デスクトップ画面でWindowsキー+Rキーを押します。
  - [ファイル名を指定して実行]の画面が表示されます。



- [%temp%]と入力し、[OK]ボタンを押します。



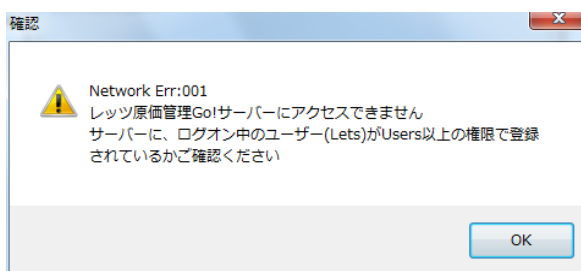
## 6 サーバー名の変更

### 【重要】

- 一般的に、サーバー名を変更するとネットワーク全体に不具合が生じる恐れがあります。クライアントのサーバー使用状況を確認してから作業を行ってください。
  - サーバーのインストール終了後に、サーバー名を変更すると、クライアントからSQL Serverにアクセスできなくなりレッツ原価管理Go!が使用できなくなります。
  - 他にインストールしているアプリケーションでSQL Serverを使用している場合、サーバー名を変更して不具合が生じる恐れがあります。他のアプリケーションで使用しているか確認を行ってから作業を行ってください。
  - この作業を行ってネットワーク及び他のアプリケーションの動作に不具合が生じても弊社では責任を負いかねます。予めご了承ください。
- サーバー名の変更は、次の手順で行ってください。
    - クライアントでレッツ原価管理Go!のバックアップを行う。
    - サーバーの“SQL Server 2017”のアンインストールを行う。  
(既定のインスタンス名『LETS』)
    - サーバーのコンピューター名を変更する。
    - サーバーにレッツ原価管理Go!のインストールCDからサーバーインストールを再度行う。
    - クライアントでレッツ原価管理Go!を起動するとエラーがでるので「OK」をクリックする。
    - クライアントで新規会社作成ボタンをクリックし、[...]ボタンで新しいサーバーを選択し会社データ作成する。
    - 作られた新しい会社データに、1)のバックアップデータを復帰する。
    - 他にクライアントがある場合、1度エラーが表示された後に会社選択をクリックし、⑥で作ったサーバーと会社を選択する。

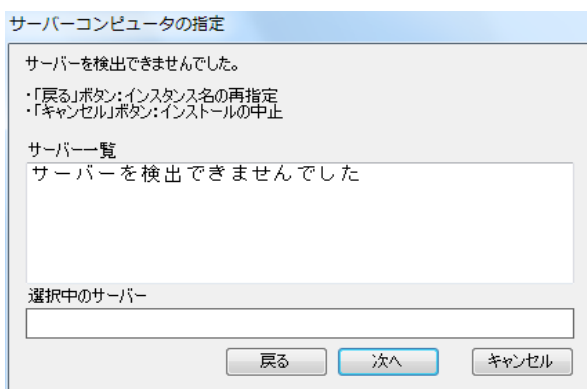
### 3 クライアントのセットアップ時のトラブル

#### 1 クライアントのセットアップ時、サーバー選択画面で「次へ」を押すと、下記のメッセージが表示された



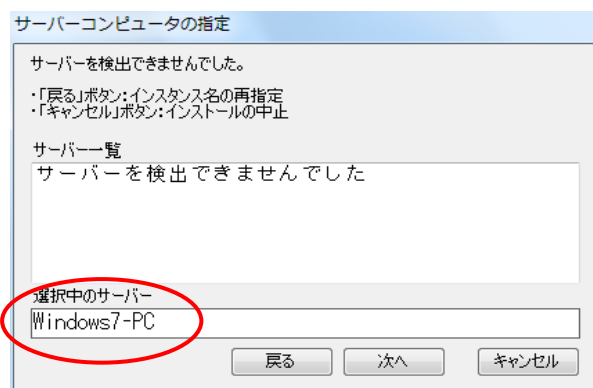
- ・サーバーでのユーザー登録が失敗している可能性があります。  
サーバーへユーザーを登録して下さい。
- ☞ 2-8 サーバーのセットアップ 5. サーバーへユーザーの追加

#### 2 クライアントのセットアップ時、サーバー選択画面で下記のメッセージが表示された



- ・SQL Serverのインストールが失敗している可能性があります。  
次頁の「レッツ原価管理Go!起動時に、「サーバーへ接続できません」とメッセージが表示された」を参考にして、構成マネージャの状態を確認して下さい。

構成マネージャに問題がない場合は、以下のように選択中のサーバーの所に、サーバー名を入力し、「次へ」を押して下さい。



### 3 レッツ原価管理Go!起動時に、「サーバーへ接続できません」とメッセージが表示された

下記の点をご確認ください

1 サーバーに、クライアントの現在のログオンユーザーが登録されていない（LAN環境の場合）

☞ 2-8 サーバーのセットアップ 5.サーバーへユーザーの追加

2 サーバーに、例外プログラム及びポートの設定が行われていない（LAN環境の場合）

☞ 2-6 サーバーのセットアップ 4.Windowsファイアウォールの設定

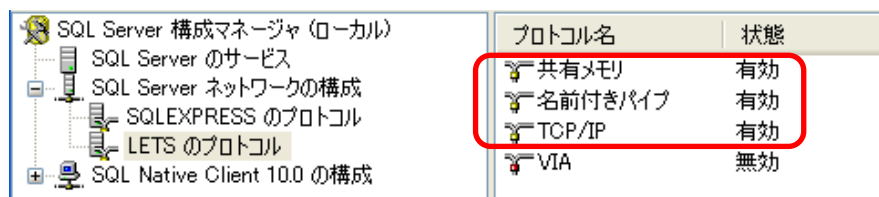
3 サーバーのレッツ原価管理Go!用の共有フォルダのアクセス権の設定が不足している

☞ 5-4 トラブルシューティング 4.サーバーのセットアップ終了時に下記のメッセージが表示された

4 SQL Server 2017 が停止している

SQL Server 2017 の起動状態を確認します。

- ① 「スタートメニュー」→「Microsoft SQL Server 2017」→「SQL Server 2017 構成マネージャー」を開きます。
- ② 「SQL Server ネットワークの構成」下「\*\*\*のプロトコル」※1 を選択し、「共有メモリ」「名前付きパイプ」と「TCP/IP」の状態のいずれかが「無効」の場合、右クリックメニューの「有効化」を選択し状態を[有効]にしてください。



- ③ 「SQL Serverのサービス」を選択し、「SQL Server(\*\*\*\*)」※1 の「状態」が「実行中」であることを確認します。  
「停止」になっている場合は右クリックメニューで「開始」して下さい。

| 名前                      | 状態  | 開始モード             | ログオン                |
|-------------------------|-----|-------------------|---------------------|
| SQL Server (LETS)       | 実行中 | 自動                | NT AUTHORITY\SYSTEM |
| SQL Server (SQLEXPRESS) | 実行中 | 自動                | NT AUTHORITY\SYSTEM |
| SQL Server Agent (LETS) | 停止  | その他 (ブート、システム起動時) | NT AUTHORITY\SYSTEM |
| SQL Server Browser      | 実行中 | 自動                | NT AUTHORITY\SYSTEM |

- ④ 「SQL Server Browser」の「状態」が「実行中」であることを確認します。  
「停止」になっている場合は「開始」にしてください。  
開始できない場合、「管理ツール」の「サービス」から開始させてください。

※1にはサーバーのセットアップ時に決めたインスタンス名が表示されます。  
初期値は「LETS」が入力されています。

インストール時に指定したインスタンスが見つからない場合は、インスタンスの作成に失敗している可能性があります。以下をご確認ください。

- ☞ 5-5 サーバーのインストール完了メッセージが表示されたが、インストール時に指定したインスタンスが見つからない

---

## レッツ原価管理G.O.！ インストールマニュアル

---

|        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 初 版    | 2009年10月30日                 |
| 第 10 版 | 2021年10月12日                 |
| 発 行 者  | 株式会社レッツ                     |
|        | 〒989-6106 宮城県大崎市古川幸町1丁目6-12 |

・本書の内容に関しては、訂正・改善のため、予告なしに変更することがございます。

---



